

# 図書館だより 第6号



## リレーコーナー

奈良情報商業高校図書館  
平成30年10月号

『生命燃ゆ』 高杉良 徳間文庫  
数学科 谷口良夫

もうすぐ秋の読書週間。(10/27~11/9)  
ティーブレイクに本でもいかがですか？

### 新着図書紹介

『檸檬(れもん)』 梶井基次郎著 げみ絵 立東舎  
イラストレーター・げみによって鮮やかにリミック  
ス。不朽の名作がいま新たによみがえる。小説として  
も画集としても楽しめる珠玉の一冊。

『自衛隊防災 BOOK』 マガジンハウス編集・発行  
地震・台風・豪雨に役立つ！  
危機管理のプロ直伝のテクニック100



### 図書委員のいちおし図書 (3年2組)

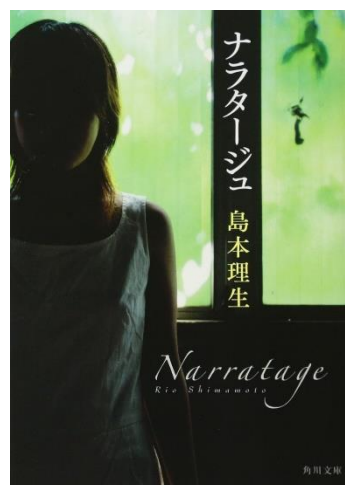
『流れ星が消えないうちに』 橋本紡著 新潮文庫

突然大切な人を亡くし、もがきながら立ち上がっていく女性の物語です。主人公の言葉一つ一つが印象に残ります。「新たな一歩」には様々な形があると考えさせられます。読み始めは切ない気持ちですが、終盤になると主人公たちが前に進もうとする様が強く心に残ります。

DVD化されているので、ぜひ観てください。

『ナラタージュ』 島本理生著 角川文庫

先生と生徒の禁断の恋で切ないラブストーリーです！  
昨年には嵐の松本潤と女優の有村架純が出演した映画  
「ナラタージュ」は大ヒットしました。  
恋愛ものが好きな方にはとてもおススメな小説です。



子どもを図書館に連れて行って、自分も何か読まなければと何気なしにとった一冊。

ある化学会社の石油コンビナートエチレンプラント建設に尽力し、若くして病に倒れこの世を去ったひとりのエンジニアの実話が題材になっている。

柿崎仁、45歳。“未練はあるが、悔いはない” と言い遺して逝った彼は、限られた時間に生命の灯を燃やした。化学コンビナートの電算機による完全制御の技術開発に画期的な業績を残し、家庭に、会社に、そして技術を通し中国大慶にと交流の輪をひろげ、今なお人々の胸に忘れ難い思い出を残し続けている。経済小説の気鋭高杉良が、感動と愛惜をもって、その鮮烈な生きざまを綴る。仕事とは、家庭とは男の原点を問う傑作ビジネスロマン。

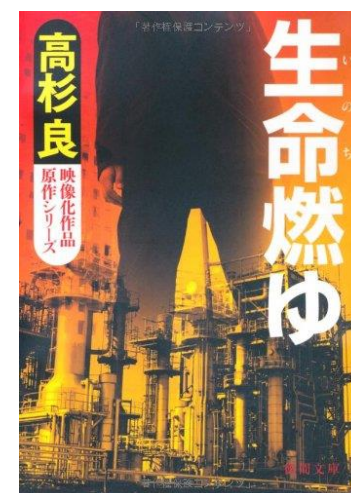
30年ぐら前に読んだ本であるが、心に残る一冊である。

この小説を読むことによって、民間企業の様子がよく分かり、これ以降教育公務員と違った立場からものを見るということが多少できるようになったような気がする。読書も興味・関心のあるものから、まったく関係のないものにチャレンジするのも、視野が広がっていいものだと思う。どんな本でもいいから読んでみてはいかが。

『未来の年表 1 人口減少日本でこれから起きること』 河合雅司著

『未来の年表 2 人口減少日本であなたに起きること』 講談社現代新書

「少子高齢化」がいつ、どのように進み、人口はどのように減っていくのか。少子高齢化や人口減少が人々の暮らしにどのような形で降りかかってくるかを生活に即しながら明らかにする。言うなれば、これからあなたに起きることを、お中元やお歳暮のギフトカタログのように一覧にしてみよう。一はじめにより無責任な大人たちのエゴが大きな社会問題を引き起こしたのではないだろうか。すべての世代が何らかの形で人口減少に立ち向かわなければならない。



『僕は何處でも、きみに初めてのお姫をする。』、『一期の永遠を、きみに。』、『春とたりを待つをみ』(スターツ出版文庫)

沖田 円 En Okita

『神様の願いごと』(スターツ出版文庫)

『真夜中プリズム』(スターツ出版文庫)

『きみに届け はじまりの歌』(スターツ出版文庫)

『この涙の跡に何が残るのか、知ることができるのか、また、何も残らない。いつだってそれは、はじまりの歌。』

『世界が動く日は、ただひとつではない。』

『わたしらして、ひんごろう』

『この涙の跡に何が残るのか、知ることができるのか、また、何も残らない。いつだってそれは、はじまりの歌。』

『世界が動く日は、ただひとつではない。』

『わたしらして、ひんごろう』

カーテンコール

著者名：加藤 朋子 著  
出版社：新潮社  
出版年：2017年  
定価：1400円＋税

経営難から廃校が決まった女子大「萌木女学園」は最後の学生をすべて卒業させる予定であった。しかし単位数が足りず留年決定者が続出。このままでは大学中途者が出てしまう。そこで理事長は学園の敷地の片隅で共同生活を営み半年間で、残りの単位取得を目指す合宿を始める。外出・ネット・面会・食事制限を乗り越え彼女たちは卒業できるのか。彼女たちは何故このようになってしまったのか、理事長は何故全員卒業を目指すのか、それぞれの事情が胸を突く。

向日葵の花言葉「あなたは素晴らしいこれは魔法の呪文です。」

You story  
君の話  
三秋繹, 早川書房

『僕は夏風灯花に恋している。』  
彼女は、架空の記憶だけに存在する幼馴染みで、  
実在には存在しない人物だ。  
だけど、彼女は僕の目に見えた、  
灰色の人生に彼女が唯一、色をつけた。  
孤独な青春と不思議な幼馴染みの短い恋の話。

『記憶』  
記憶改変ナノロボットで、種  
入付られた架空の記憶の  
ふみ 恋人との記憶、学生時  
代の記憶など様々な記憶  
を消したかったというオーガ  
ーが、まきと機械工士によ  
って、個人それぞれに合う  
記憶を作成する。

『レーダ』  
記憶を消去したい場合に  
使用するナノロボット、生  
活に必要な記憶は消され  
ず、エピソード記憶のみが  
消去される。

『記憶改変ナノロボット』  
記憶の消去や架空の記憶を編  
成に使えるナノロボットカウ  
ンティングを受けると、個人の  
意志にある架空のナノロボ  
ットが動かし、求に自分の  
欲だけで記憶は消去する。

『レーダ』  
記憶を消去したい場合に  
使用するナノロボット、生  
活に必要な記憶は消され  
ず、エピソード記憶のみが  
消去される。

『私、稀来的には日本代表監督になろうと思うんだよね』

『可哀想な子ども』

自分より強い男に打ち負かすことを楽しんだ男。

『月夜に雲を抜かれたよ!』

『お前はすっごく、こんな男!』を想いながら、  
俺たちの試合を見守ってたんさな!』

『一瞬手に握ったサッカーを奪うよ。俺はまた、前にも手を奪われてないからいい。』

レッドスワン サーガ  
赤羽高校サッカー部  
綾崎 華 著 KADOKAWA

『そんなことをやっているから弱いんだよ』

房部寸前の赤羽高校サッカー部の監督に就任した  
国語講師 舞原世玲奈は、そう言い放った。

天才エースの故障や個性の強いメンバー達など  
問題山積のなか、彼女は「知性」を身方にどう戦うのか?

『高級座席、君はいつか、きっと誰よりも偉大な指揮者になる』

『ガラスのファンタジスタ』

The REDSWAN Saga  
Episode 1 レッドスワンの開幕  
Episode 2 レッドスワンの戦役  
Episode 3 レッドスワンの戦役  
Episode 4 レッドスワンの戦役

『長い間ごめん、ありがとう』

いつだって未来は白紙だ。

YA(ヤングアダルト)本  
展示しています!

イチゴナノカナルロボット たかしらわらむ  
17×63 鷹代航は覚えている

ウリだろ...  
ウライと入れ替わって  
しっせー!!!  
愛母こと一さき母さん?

鷹代航、17歳。高校2年。  
情報科で活躍。学校で特待生に  
立派なイケイケイ  
イマドキ男子。

鷹代航系、42歳。  
宝飾してハローワーク通い、  
自衛隊で働いてる。

鷹代航は、17×63鷹代航が覚えている  
著者：たかしらわらむ  
出版社：祥伝社  
出版年：2018年4月  
単行本価格：1,400円＋税

『鷹代航系、42歳。宝飾してハローワーク通い、自衛隊で働いてる。』

『鷹代航系、42歳。宝飾してハローワーク通い、自衛隊で働いてる。』

『鷹代航系、42歳。宝飾してハローワーク通い、自衛隊で働いてる。』

『ブロードキャスト』

山岸良太

久米映葉

町田圭祐

宮本正也

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』

山岸良太

久米映葉

町田圭祐

宮本正也

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『ブロードキャスト』  
著者：久米映葉  
出版社：KADOKAWA  
出版年：2018年  
単行本価格：1,600円

『むーさんの自転車』  
ねじめ正一 著  
中央公論新社  
2017年

私の家は高円寺商店街と和菓子屋「松野屋」を営んでいる。夕方になると米屋のむーさんは配達じゃない日も、毎日、駄目のような自転車に乗ってやってきた。重たいお米を乗せて、片手でカッコイイ! むーさんは僕のことを「ママー」と呼んだ。

祖父がなくなり、一人になった父が他の事業に手を出した事や、松野屋は創業、家業である高円寺を継ぐことになった正雄にむーさんは、放蕩である長男と一緒ににこうと誘う。正雄は誰と離れ、むーさんと長男で暮らすことに。そこで出会う人々に聞かされる、いつしか和菓子屋主人になる夢を持つようになり...

むーさんは放蕩の体人、小林一茶が好きで、物語の随所に一茶の俳句が織り交ぜられているのも面白い。